

幼少期からのアトピーと全身浸出症状を経て高校卒業時に症状がほぼ消失した成人アトピーの経過 (32 歳 成人)

症例 ID：001-30-MJ | 記録日：2016 年 7 月 28 日

1. 診断・治療前経過

3～4 歳頃から臀部に強いかゆみと出血があり、ステロイド外用で一時的に治まる状態を繰り返しました。
中学 3 年頃、左腕から右腕、膝、脇、臀部、手へ浸出性症状が広がりました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	幼少期からステロイド外用薬を使用しました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	幼少期から中学期まで断続的に使用しました。
中止時期	中学 3 年頃の松本医院受診時です。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
3～4 歳頃	発症	臀部に強いかゆみと出血があり、外用薬で一時的に治まる状態を繰り返しました。
中学 3 年頃	急性悪化	腕、膝、脇、臀部、手へ浸出性症状が広がりました。
治療開始後	浸出期	手や臀部から体液が出て、乾いた皮膚が衣類に貼り付きました。
高校期	回復傾向	入浴と外用処置を続け、皮膚状態が徐々に整いました。
高校卒業頃	経過後	周囲から過去のアトピーに気づかれない程度まで症状が軽減しました。
31 歳	喘息発症	初めて喘息が出て、階段での息切れと夜間の息苦しさがありました。
記録時点	喘息の経過	治療開始 2 日ほどで夜眠れる程度に落ち着き、その後は風邪時の軽い発作のみとなりました。

4. ピーク時期

皮膚症状のピークは、中学 3 年頃に腕、膝、脇、臀部、手へ浸出性症状が広がり、衣類に皮膚が貼り付いた時期です。

5. 困りごと

- ・浸出液が衣類に貼り付き、はがす際に痛みがありました。
- ・症状を隠すため衣類を重ねて通学しました。
- ・31 歳時には喘息による息切れと夜間の睡眠障害がありました。

6. 経過のまとめ

高校卒業頃にはアトピー症状がほぼ分からない状態となり、記録時点では手が少し荒れる程度でした。
31 歳で発症した喘息も、記録時点では風邪の際に軽い発作が出る程度まで軽減していました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。